

KSGA

KANTO STUDENTS GOLF ASSOCIATION



●那須小川ゴルフクラブ 東コース10番ホール

Vol.34

MAKE A DREAM, JS KING'S SPIRIT.

尾崎将司プロ監修、軟鉄鍛造キャビティ、
JSキングス スピリット。

実際に構えてみるとわかりますが、このアイアン、いかにもシャンポ好みの顔つきをしています。そこには、機能はもちろんのこと、クラブの美しさにもこだわる、尾崎将司プロのスピリットが実現されています。キャビティ部は内部を盛り上げた独自のデザイン。ボールの打点位置に重心を合わせた精緻な設計により、ナリドリな打球感と打ちやすさを両立しました。クラブの機能にまかせて振れば、クラブがきちんと飛ばしてくれる。力強い弾道を誰もが手にできます。

●アイアン 10本セット [I3~9, PW, PS, SW] コーニックモデル 2.1g (LH)
シップト: ¥250,000 *左記のメーカー希望小売価格には消費税は含まれません

フリーストーンスポーツ株式会社 商品のお問い合わせはフリーダイヤル 0120-116613 ホームページのURLは、<http://www.bs-sports.co.jp>

アマチュアは、オートマチックなクラブがいい。



CONTENTS

- ② 卷頭言 『母校愛』
全日本学生ゴルフ連盟会長 近衛通隆
- ③ 委員長あいさつ
平成9年度関東学生ゴルフ連盟委員長 慶應義塾大学 今泉良太
- ④ ⑤ 連載 学生GOLF、あの日、あの時
女子学生ゴルフ競技の幕開け
昭和34年春、6校19人が参加して第一歩を踏み出した。
関東学生ゴルフ連盟専務理事 福島靖
- ⑥ 隨想
大学ゴルフの原点は「対抗戦」にあり!
関東学生ゴルフ連盟常任理事 池田郁雄
- ⑦ dear My Club 我がゴルフ部
跡見学園女子大学 上智大学
- ⑧~⑪ 理事会報告・全日会議報告
全日本学生ゴルフ連盟理事会設立準備委員会
平成8年度第5回常任理事会議事録作成 武藏大学 小川潤也
平成8年度第6回常任理事会議事録作成 // //
平成8年度第3回理事会議事録作成 // //
全日会議議事録作成 日本女子大学 山崎有香
全日本学生ゴルフ連盟理事会設立準備委員会議事録作成 武藏大学 小川潤也

- ⑫ ⑬ 告知板
平成9年度第1回競技規定見直し小委員会報告
報告書作成 明治大学 金俸基
- ⑭ ⑮ 平成9年度全日本学生ゴルフ連盟・関東学生ゴルフ連盟主催競技日程
(男子・女子)
- RESULT**
- ⑯ ㉑ 第23回日刊スポーツ杯争奪関東学生ゴルフ選手権予選会
(第1・第2会場)
- ㉒ 第23回日刊スポーツ杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権予選会
- ㉓ 平成9年度関東学生ゴルフ連盟男子3月月例会
- ㉔ // 関東学生ゴルフ連盟女子3月月例会
- ㉕ // 関東学生ゴルフ連盟男子4月月例会
- ㉖ ㉗ 対抗戦順位表
(男子・女子)
- ㉘ 編集後記

表紙写真：那須小川ゴルフクラブ(栃木県那須郡小川町)

南那須の大自然の中に展開する丘陵コース。
東・西コースの36ホールからなり、東コースアウトは、自然の起伏とクロスバンカーに特徴がある。インは、平坦でフェアウェイも広い。
西コースアウトは、距離がたっぷりあり、豪快なプレーが満喫できる。反対にインは、戦略性のあるコースで技術が必要とされる。
毎年このコースで、日刊スポーツ杯予選会、ブロック対抗戦などが開催されている。

卷頭言

『母校愛』

いよいよ、ゴルフシーズンの到来です。

学生のゴルフ競技は去る3月の月例競技を皮切りに、この4月から5月にかけては、関東連盟の春のビッグイベントである関東大学ブロック対抗戦が繰り広げられました。ブロック対抗競技とは、母校の名誉をかけて戦う、大学生のゴルフ競技の中では一番大事なゲームだと思います。出場する諸君にとっては個人戦とはまた違った緊張感と、言葉には表せない重圧もあったことでしょう。そこを一致団結して乗り切るのが団体戦の意義であり、面白さあります。

最近、大学のゴルフは団体戦より個人戦を重視する傾向が強いことを、ある大学の監督さんから聞き及びました。そんな風潮が年々強まるのを嘆いておられました。確かにゴルフは個人ですべてをコントロールするスポーツではあります。だが、大学に入ってゴルフ部の一員として名を連ねている以上、個人の立場を最優先した自己中心主義は許されるべきではないと思います。大学全体を眺め、部全体を見渡し、横の連携を強化して母校の誉を擧げることが諸君の使命であることを忘れてはならないのです。

いま、男子の学生競技の中で最古の歴史と伝統を誇っているのは「信夫（しのぶ）杯争奪全日本大学対抗」です。昭和30年の創始です。カップを寄贈してくださった信夫韓一郎



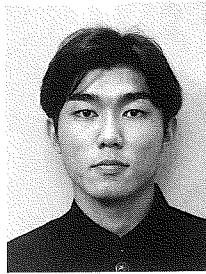
氏（元朝日新聞代表取締役専務）はその根底の思想をこう強調しておられました。

〔アメリカの教育者たちはスポーツをもつて国民を団結せしむる一方法として奨励している。その顕著な例が大学のフットボールである。母校のゲームになると母校愛と団結心をそそる。それを信夫杯に求めたい〕

この言葉は、たとえ信夫杯に出場できるチャンスがなくとも、大学ゴルフ全体に通じる教訓ではないかと思います。なぜならば、母校愛、団体戦の大切さを味わえるのは僅か4年間の学生生活の時だけだから、社会人になってからではそれを求めるることはできません。

母校愛。この言葉をもう一度、みんなでかみしめてください。

委員長あいさつ



平成9年度
関東学生ゴルフ連盟委員長
慶應義塾大学 今泉 良太

平成9年度関東学生ゴルフ連盟委員長に就任しました慶應義塾大学の今泉良太と申します。一年間という短い期間で何ができるか分かりませんが、新役員また、3年連盟委員ともども学生ゴルフ界の発展のために精一杯がんばりますのでよろしくお願ひします。

現在、学生ゴルファーに求められているもの、それは将来、社会人になってゴルフをする時などに「さすが学生ゴルファー出身」といわれるようになることです。具体的にいうと、エチケット・マナーを守り、対戦相手、コース、自然に思いやりや誠実さを持つということです。つまり、できるだけプレーの進行を早くすることもそうだし、元気良くあいさつを交わすなど、常識的なことを普通にこなせばいいのです。

今年は、そのようなことに対する意識改革のため、ペナルティーを課すことが多くなるかもしれません。しかし、そうしないと、みなさんのスロープレー、マナー等に対する意識は、仲々変わって行かないと思います。ちょっと意識するだけで、すごく変わると思います。これからは普通の練習ラウンドから、スロープレーに対して意識してラウンドして見てください。2時間以内ではまわれるはずです。

話は変わりますが、連盟委員について少し書きたいと思います。みなさんの中には、連盟委員の印象をあまり良く思っていない人がいると思います。毎年、しっかりと連盟委員を出し、仕事をしている大学の選手の人たちは、大体協力的です。その他の大

学は、学連が何をしているのか良く分かってもらえてないのだと思います。それは、その大学で連盟委員を出していても、同じ大学の先輩がいないので、何をするか分からない、他の人たちとうちとけられない、などで、最初は来てもどんどんいなくなってしまうのです。そして、何か学連とそういう大学の人たちとの関係があまりうまく行ってないと思います。

私はもっと学連と選手の関係をフレンドリーにしたいのです。選手の人たちと友達のように気楽に何でも話し合い、学生ゴルフ界を発展させて行きたいのです。その間に入るのが連盟委員なのです。ですから、各大学が連盟委員を出してくれると、どこの大学の人たちとも仲良くなれるし、いろいろな意見が聞けると思うのです。連盟委員というのは、そんなに自分の時間をさかれるものではありません。確かに、役員の何人かはそうかもしれません。しかし、特に3年生などは、月に1~2回事務所で当番してもらうのと、年に2~3回試合に行ってもらうだけです。そして、他の大学の人たちと交流ができ、友達ができると世界が広がって、楽しいじゃないですか。

ですから、できる限り連盟委員を出してほしいですし、学生が学生のためにやっている団体としては出すべきだと思います。

いろいろと長くなりましたが、学生ゴルフを通じ、自己研鑽し、良き友人を作ることもゴルフの目的だと思います。そのためにも、エチケット・マナーを守ってやっていきましょう。私も一生懸命がんばりたいと思いますので、みなさんのご協力をよろしくお願いします。



学生 GOLF あの日、あの時

(9)

学生ゴルフ男子の歴史は、戦前から通算して60余年の時を刻んでいるが、女子学生による競技の幕開けは昭和34年の春のこと。こちらは30余年を数える。その歴史に残る最初の競技は、関東学生ゴルフ連盟主催、東京中日新聞（現在の東京中日スポーツ）の後援で開かれた「春期関東女子学生ゴルフ競技会」だった。高校生の増永たい子さんが記念すべき優勝者になった（カット写真は、女子学生優勝者の増永さんを囲む参加選手たち）。

昭和34年の日本のゴルフ界は、女子ゴルファーが著しい飛躍をとげた年でもある。女子選手権（現在の日本女子アマ）が日本ゴルフ協会の主催で始まり、東京ゴルフ俱楽部の会員だった横河初子さんが日本の女子ゴルファーとして初めてシングルハンディになつた。この二つはゴルフ界の大きな話題だった。

そこで時代を先取りというわけではないが、その前年の秋、女子学生のゴルフ競技を開けないものだろうか、という話が学生の間から持ちあがつた。さらに東京中日新聞の事業部に後援の要請があり、史上初の女子学生ゴルフ競技の実現するところとなつた。

その頃、男子学生の競技は関東、関西学生、日本学生、東西対抗、信夫、朝日杯などが盛んに行われていた。それに呼応して、各大学のゴルフ部には女子の部員が日ごとに増えていったのである。

だが、女子の競技会を開くといつても周囲の見方は厳しかった。果たしてどの程度のレベルなのか、どんなスコアを出せるのか、といった具合に不安だらけ。第一、コースを女子学生たちに開放してもらえるだろうかという懸念もあった。

その年の暮から翌年にかけて、学生の代表たちは三々五々、東京・日比谷にあった東京中日新聞に集

関東学生ゴルフ連盟専務理事 福島 靖

女子学生ゴルフ競技の幕開け 昭和34年春、6校19人が参加して第一歩を踏み出した。



「春期関東女子学生ゴルフ競技会」開催の通知文

期	日	記
午前七時半	(タラン・ハウス)	午前八時スタート
一 回	三月三十一日(火)	東雲ゴルフクラブコース(雨天次行)
二 回	(1) 上田ユキ子(成城大)	小畠和英子(学習院大)
三 回	(2) 山野静子(立大)	桜井昌子(成城大)
四 回	(3) 鍋島陽子(慶大)	北村京子(慶大)
五 回	(4) 荒井由美子(学習院大)	新井ひろみ(学習院大)
六 回	(5) 八坂一子(早大)	横山和子(日女大)
七 回	明石佳子(慶大)	藤居章子(学習院大)
八 回	貝島滋子(慶大)	増永たい子(慶大)
九 回	李福順(成城大)	吉田光子(成城大)
十 回	加藤佐知子(慶大)	松本和子(日女大)
十一 回	小川礼子(慶大)	増永たい子(慶大)

まつては協議を重ねた。そこでこんな結論を出し、とにかくスタートさせようということになった。

《スロープレーのないよう各組に男子学生の世話を役が付き添う》《都心にできるだけ近いコースで、やさしく、しかも安価にプレーさせてくれるところを会場に選ぶ》

そこで候補にあがつたのが東雲（しののめ）ゴルフクラブだった。東京湾の埋め立て地に建設されていた平坦なコースで、会員制ながらビジターも容易に受け入れてくれる所以人気があった。

ここに武田さんという支配人がいた。交渉の結果は「学生のために大いに協力いたしましょう」と門戸開放に向いた。武田さんは戦前、アメリカでゴルフを覚えた古いゴルファーだった。若人を育てるに理解を示してくれた。だからこそ女子学生の競技実現の運びとなつた。

世話を担当したのは、準備のために東奔西走した。別掲のような通知文をゴルフ場側をはじめ日本ゴルフ協会、関東ゴルフ連盟に差し出して、最初の大会が無事に終わるのを祈るのみだった。

記念すべき大会に参加したのは6校19人だった。27ホールのストロークプレーで優勝が争われた。関東学生連盟の委員長だった石毛欣也さん（当時、慶應義塾大学）は「学連は責任をもってプレーの進行を監督します。スコアですか。さあ、一人くらいは100を切ってくれると思いますが…。いや、それが希望です」

競技は周囲の心配をよそに、スムーズな展開を見せたが、結果も意外や意外、慶應高校3年生の増永

たい子さんが大学生のお姉さんゴルファーをしり目に、トータル142(47・49・46)で他を寄せつけない大健闘をみせ、周囲を驚かせた。優勝のインタビューは蚊の鳴くような小さな声で「わたし勝ったの？恥ずかしいわ」と大テレの一幕も…。

父君は歌手の藤山一郎さん。ご両親に小さい頃から教わってきた本格派だった。これをきっかけに、女子の学生ゴルフに『増永時代』が到来した。体格もよかつたし、パワーもあったが女子のアマチュアゴルファーらしい品格も備えていた。

かくして、わが国最初の女子学生によるゴルフ競技は一人の落伍者を出すことなく、つつがなく歴史に残るページを刻んだ。そしてこの競技はその後、関東女子学生の競技として定着して春と秋に開かれた。

あれから38年。19人の精鋭たちの大半は、いまもクラブを振り続けているという。『おばあちゃん』と

いわれる年齢に達している。いま、女子の学生ゴルファーのトップクラスは、いとも簡単にアンダーパーのスコアを出せる時代だ。その頃は、想像すらできなかった。

[参加者一覧] (敬称略、順不同)

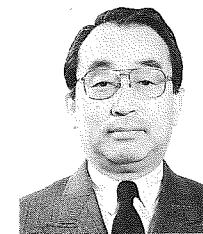
上田ユキ子(成城大) 山野静子(立大) 鍋島陽子(慶大) 荒井由美子(学習院大) 八坂一子(早大) 貝島滋子(慶大) 明石佳子(学習院大) 小畠和英子(学習院大) 桜井昌子(成城大) 北村京子(慶大) 新井ひろみ(学習院大) 横山和子(日女大) 藤居章子(学習院大) 李福順(成城大) 加藤佐知子(慶大) 吉田光子(成城大) 小川礼子(慶大) 松本和子(日女大) 増永たい子(慶應高校)



全米ゴルフ協会（USGA）のカタログから通信販売でタイガー・ウッズのアマチュア時代の戦績、主にジュニアアマ、全米アマの試合を中心としたテープを購入した。小さな子供時代の貴重な写真もあり、仲々面白いテープだった。アマチュアの選手権はホールマッチなので一ホール、一ホールが緊張感にあふれた素晴らしい戦いの連続が見られた。彼の肌の色から心ない野次もあったかもしれないが、いかにもアマチュアらしい、そしていかにも若者らしいプレーぶりに感心させられた。18歳で最初の全米アマを勝つ訳だが、その態度はスポーツマンシップにあふれ、服装はこれ以上地味にできないほど地味で、スタンフォード大学に入ってからは、大学のシャツと帽子をかぶってプレーするという愛校心にあふれていた。

ゴルフの本当の面白さは確かにホールマッチにあると思う。オールドマン・パーに挑戦するという考え方ともむしろホールマッチ戦における心理面の強化をはかる一つの方法であろう。大学のリーグ戦も、学生選手権もホールマッチであった時代がある。私が学生時のリーグ戦は、春と秋に軽井沢ゴルフクラブで行われ、相手に勝つこと、自校が勝つことに全精力をそそいだものである。これは当然のことながら現在の学生諸君も同じでしょう。学校対学校、選手対選手だから、対戦した相手校、対戦した相手選手、そしてプレーしたホールなどが懐かしい思い出としてよみがえってくる。これが人生の大重要な一部分として存在するということは、とても幸せなことだなといつも感謝している。これも、自分の母校があり、仲間がいたからこそだと思う。

とかく個人プレーにはしりがちな学生ゴルフ界に、団体戦の大切さを強調して力を貸してくれたのが、朝日新聞である。昭和20年代に「朝日杯」を創設してくれたが、その「朝日杯」は個人戦だったけれど、すぐに団体戦のために「信夫（しのぶ）杯」を創っていただいた。当時、朝日新聞の代表取締役専務をなさっておられ、この団体戦の提唱者であった信夫韓一郎さんの名前をつけたものである。



関東学生ゴルフ連盟常任理事
池田 郁雄

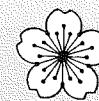


個人戦は失敗すれば個人の責任で自分の成績が悪いだけで終わるが、団体戦は母校の勝利と名誉をかけて戦うので、とにかく重圧がものすごい。私たちは昭和37年の春のリーグ戦で、宿敵慶應義塾大学をやぶって初優勝したが、秋のリーグ戦ではぱっとせず、最後の早慶戦に負ければ五位になるという、春のチャンピオンとしてはまことに情け無い状態に落ち込んでしまった。早慶戦の前日、朝食にマネジャーに姿が見えない。しばらくすると、坊主頭になつたマネジャーがもどってきて食堂に入ってきた。皆、彼の気持ちがわかるだけに何もいえずにもくもくと食事を続けた。もちろん、砂を噛むような食事だった。翌日、最終選手が最終ホールで勝ち早稲田の勝利がきつた。皆の頬が異常に落ち窪んでいたのを今でも鮮明に覚えている。

(筆者は昭和38年早稲田大学卒業、元ゴルフ部副主将)

跡見学園女子大学

所在地 埼玉県新座市中野1-9-6 連絡先 048(478)3333



- 創 部 1975年
- 現部員数 10名
- 顧 問 柳原 咸征
- 主 将 菅原 美幸

私たち跡見学園女子大学体育会ゴルフ部は、週3回の校庭でのアプローチ練習と週2回の打撃練習を行っています。また、月に1回の校内月例ラウンドや、リーグ戦に向けての合宿なども行っています。部内は、しっかりとした上下関係を保ちながらも、わきあいあいとした雰囲気に包まれています。このことが、技術向上に集中できる環境を自然と作り出していると自負しております。同時に、これが我大学ゴルフ部の良き伝統でもあるのです。また、校外を問わず、部活動を通じて学び得た礼儀や、柔軟且つ強い精神力を、社会に出てからも生かせねばと考えております。今後も傲ることなき精神をモットーに努力して参ります故、よろしくお願ひ申し上げます。

上智大学

所在地 東京都千代田区紀尾井町7-1 連絡先 03(3264)4881



- 創 部 1952年
- 現部員数 男子16名 女子14名
- 主 将 北本 武
- 女子主将 仙石 仁美

私たち、上智大学体育会ゴルフ部は、男子16名、女子14名、少人数ながら男女それぞれ、活動を行っています。男子は、週3回の合同トレーニングと打撃、パター練習を行っています。トレーニング時のランニングでは、迎賓館の周りを、大声を出しながら全員で走り、通行人の白い目を受けながらも、組織体としての団結力強化を図っています。土日、祝日は、新千葉カントリークラブなどのゴルフ場において、キャディアルバイトをかねてのラウンドを行っています。

このような練習の結果、平成8年秋季Dブロック対抗戦において、見事優勝を果たしました。残念ながら、入れ替え戦では、1ストローク差で3位という結果に終わり、Cブロックへの昇格はなりませんでした。

この悔しさをばねにして、次期リーグ戦において、二期連続優勝と、Cブロックへの昇格を目指し、日夜努力を惜しまずに、練習しています。

平成8年度第5回常任理事会議事録

日時	平成9年1月13日(月)午前7時30分~9時30分
場所	関東学生ゴルフ連盟会議室
出席	松本会長、福島専務理事、細川、竹田、岡村、高木、池田各常任理事、白石事務局員 佐藤、高橋、高谷、今泉、金、小川、本間、永田、菅原、岸、坂本各学生委員(順不同)

議案及び決議事項の報告

- 第1号議題一「平成9年度関東学生ゴルフ連盟新役委員紹介」 今泉委員長より紹介され、各自自己紹介する。
- 第2号議題一「全日会議報告」 昨年12月15日にKKR札幌にて行われた全日会議の報告がされた。別紙参照(全日会議議事録)
- 理事サイドより、「ルール見直し小委員会は関東のものであり、関東のものを全日で採用するという確認はとれているのか。」という質問がされた。
- 金競技委員長より、「確認をとりたい。」と応答がされた。
- 第3号議題一「全日理事会について」 佐藤旧委員長より提案がなされ、3月14日に準備委員会を開くことが確認された。
- 理事サイドより、下記の意見が出された。
- ・大学のゴルフ部に監督コーチからでもらい、それを会長が承認する形を取ってはどうか。
 - ・会長、副会長の推薦により選出してはどうか。
 - ・昭和32年に全日理事会が朝日新聞が中心になって発足しているので再発足ではないか。
 - ・日本ゴルフ協会、朝日新聞が協力しなかったので新規でいいのではないか。
- 第4号議題一「単位制について」 佐藤旧委員長より、下記の報告がされた。
- ・平成9年度の導入は準備不足のため断念したい。もう少し議論して、平成10年度より導入したい。
 - ・高橋旧競技委員長より、下記の意見が出された。
 - ・4年計画で進め、平成10年入学者が3年生になる平成12年より導入し、それまでは準備期間にしてはどうか。
- 理事サイドより、さまざまな意見が出され、もう少し議論の余地があり、今後も検討していくことが確認された。
- 第5号議題一「第22回日米大学ゴルフ選手権について」 金競技委員長より報告され、開催の方向で確認された。
- 第6号議題一「規約及び競技見直し小委員会について」 松本会長より、細川常任理事が見直し委員会の委員長に任命され、細川常任理事の快諾を得た。
- 後日、見直し委員会が行われることが確認された。
- 第7号議題一「本年度競技日程について」 今泉委員長より、平成9年度の競技日程が報告された。
- 第8号議題一「チャレンジカップについて」 今泉委員長より、「チャレンジカップの目的はリーグ不参加校への救済措置である。」との報告がされ、承認された。
- 第9号議題一「その他」
- ・理事サイドより、全日リーグは開催されないことが確認された。
 - ・2月12日の常任理事会は休会にすることが確認された。
 - ・次回は3月18日に常任理事会を開くことが確認された。

議事録作成 小川 潤也(武藏大学)

平成8年度第6回常任理事会議事録

日時	平成9年3月18日(火)午後5時00分~6時10分
場所	ダイヤモンドホテル
出席	松本会長、福島専務理事、細川、竹田、岡村、高木、佐野各常任理事、白石事務局員 佐藤、高橋、今泉、金、本間、永田、菅原、坂本、田中、舛谷、桑田、大仲、小川各学生委員(順不同)

議案及び決議事項の報告

- 第1号議題一「第22回日米対抗ゴルフ選手権について」 今泉委員長より、日米対抗の開催についての報告がされ、了承された。
- 松本会長より、役員の候補が下記のように推薦され、その方々にお願いすることになった。
- | | |
|-------|----------|
| 団長 | 池田郁雄常任理事 |
| 監督 | 浜鳴照佳理事 |
| 競技委員長 | 生田憲一理事 |
| 男子コーチ | 川島英雄理事 |
| 女子コーチ | 許斐順子理事 |
- 本大会は今年で富士ゼロックスとの協賛契約が切れるが、来年以後もお願いすることが確認された。
- 第2号議題一「トーナメントアルバイトについて」 今泉委員長より、今年は日本プロ選手権とブリヂストンオープンの2件を引き受けることが報告され、了承された。
- 第3号議題一「新規加盟校について」 永田総務局長より、順天堂大学、城西国際大学、帝京平成大学の新規加盟の申請の報告がされ、了承された。
- 第4号議題一「競技規定改定について」 金競技委員長より、競技規定の見直しについての報告がされ、了承された。また細川常任理事より、見直し小委員会は解散せず、必要に応じて招集することが報告された。
- これに関連して、理事サイドよりボール拭きは関東だけのルールで、国際試合では認められないで、やめるかキヤディにしてはどうかとの意見が出された。
- これに対し、金競技委員長より「突然変更しては選手が戸惑うので、今年見直し小委員会で検討し、その結果で来年以降どうするか決めたい。」との返答がされた。
- 第5号議題一「全日本学生ゴルフ連盟理事会について」 松本会長より、3月14に行われた全日本学生ゴルフ連盟理事会設立準備委員会の報告が下記のようにされた。
- ・4月末までに各地区に理事を選出してもらう。
 - ・年1、2回、各地区持ち回りで開催したい。
 - ・発足は、5月半ばに大阪で行いたい。
- 理事サイドより、日本学生選手権の最終日に理事会を開催してはどうかとの意見が出された。
- 第6号議題一「全日本学生ゴルフ連盟会議について」 今泉委員長より、3月16に行われた全日会議の報告がされた。
- また、金競技委員長より、全日競技の日程と今年度は1日18HSで試合を行うことが報告された。
- 単位制について、全日会議で話し合われた結果が今泉委員長より、下記のように報告された。
- ・同じ学生の学連が単位を管理するのはおかしい。
 - ・導入は困難ではないか。単位を取るよう指導するだけにしてはどうか。

ツクの下位2校に入れ替え戦を行い、4校中2位以内の成績を修めるとブロックに昇格できるように変更したと報告され、了承された。

- 第5号議題一「全日本学生ゴルフ連盟理事会について」 松本会長より、3月14に行われた全日理事会設立準備委員会の報告が下記のようにされた。
- ・4月末までに各地区に理事を選出してもらう。
 - ・年1、2回、各地区持ち回りで開催したい。
 - ・発足は5月半ばに大阪で行いたい。

- 第6号議題一「全日本学生ゴルフ連盟会議について」 今泉委員長より3月16に行われた全日会議の報告がされた。
- また、金競技委員長より全日競技の日程と今年度は1日18HSで試合を行うことが報告された。

理事サイドより、1日18HSにした根拠についての質問がされた。

金競技委員長より、「ゴルフの本質論では18HSが基本であり、27HSでは変則的で団体戦においては除外するスコアをどう決めるかが曖昧になるので18HSに変更した」と説明がされた。

理事サイドより下記の意見が出された。

- ・18HS単位なら朝早くスタートし、36HSにしてはどうか。
- ・ショットガン方式にして36HSにしてはどうか。
- ・1日18Hの競技だけで学生ゴルフ団体日本一を決めるのは大会の権威がなくなるし、おかしい。

この問題については今年はこれでやってみて、来年以降、60人が36HSラウンドできるか計算し検討してみることが確認された。

第7号議題一「その他」 理事サイドより、「対抗戦のエントリーを早くしないと宿舎が予約できないのはおかしい。そのためベストメンバーが選出できない」という意見が出された。

それに対し、今泉委員長より、「ゴルフ場から2週間前に宿泊者名簿を送るようにいわれているので、エントリー順に宿舎を割り当てていた。手続き上の問題である。今後検討したい。」と説明がされた。

議事録作成 小川 潤也(武藏大学)

平成8年度第3回理事会議事録

日時	平成9年3月18日(火)午後7時00分~8時30分
場所	ダイヤモンドホテル
出席	松本会長、福島専務理事、細川、竹田、岡村、高木、佐野各常任理事、松島、鳴田、川島、許斐、浜鳴、篠淵、諸戸各理事、白石事務局員 佐藤、高橋、今泉、金、本間、永田、菅原、坂本、田中、舛谷、桑田、大仲、小川各学生委員(順不同)

議案及び決議事項の報告

- 第1号議題一「第22回日米対抗ゴルフ選手権について」 舛谷第1事業局長より、第22回日米対抗ゴルフ選手権の開催についての報告がされ、了承された。
- 松本会長より、役員の候補が下記のように推薦され、その方々にお願いすることになった。
- | | |
|-------|----------|
| 団長 | 池田郁雄常任理事 |
| 監督 | 浜鳴照佳理事 |
| 競技委員長 | 生田憲一理事 |
| 男子コーチ | 川島英雄理事 |
| 女子コーチ | 許斐順子理事 |
- 本大会は今年で富士ゼロックスとの協賛契約が切れるが、来年以後もお願いすることが確認された。
- 第2号議題一「トーナメントアルバイトについて」 今泉委員長より、今年は日本プロ選手権とブリヂストンオープンの2件を引き受けることが報告され、了承された。
- 第3号議題一「新規加盟校について」 永田総務局長より、順天堂大学、城西国際大学、帝京平成大学の新規加盟の申請の報告がされ、了承された。
- 第4号議題一「競技規定改定について」 金競技委員長より、競技規定の見直しについての報告がされ、了承された。また細川常任理事より、見直し小委員会は解散せず、必要に応じて招集することが報告された。
- これに関連して、理事サイドよりボール拭きは関東だけのルールで、国際試合では認められないで、やめるかキヤディにしてはどうかとの意見が出された。
- これに対し、金競技委員長より「突然変更しては選手が戸惑うので、今年見直し小委員会で検討し、その結果で来年以降どうするか決めたい。」との返答がされた。
- 第5号議題一「全日本学生ゴルフ連盟理事会について」 松本会長より、3月14に行われた全日本学生ゴルフ連盟理事会設立準備委員会の報告が下記のようにされた。
- ・4月末までに各地区に理事を選出してもらう。
 - ・年1、2回、各地区持ち回りで開催したい。
 - ・発足は、5月半ばに大阪で行いたい。
- 理事サイドより、日本学生選手権の最終日に理事会を開催してはどうかとの意見が出された。
- 第6号議題一「全日本学生ゴルフ連盟会議について」 今泉委員長より、3月16に行われた全日会議の報告がされた。
- また、金競技委員長より全日競技の日程と今年度は1日18HSで試合を行うことが報告された。
- 単位制について、全日会議で話し合われた結果が今泉委員長より、下記のように報告された。
- ・同じ学生の学連が単位を管理するのはおかしい。
 - ・導入は困難ではないか。単位を取るよう指導するだけにしてはどうか。

- 試合が平日にあるのに単位を取れというのは矛盾しているのではないか。
- 卒業を目指していない人を責めることができるのが。
- また、全日理事会について今泉委員長より、下記のように報告された。
- 学生ゴルフ連盟は原則として学生主導で、理事会は方向付け、バックアップに徹してほしいというのが学生の意見である。
- 理事サイドより、1日18HSの競技はスポーツとして物足りなさがあり、見直してほしいとの意見が多数出され、再度検討することが確認された。
- 第7号議題一「その他」**
 - 松本会長より、原理事が体調を崩されているので、3月いっぱいで退任していただき、元気になられたら復帰していただくことにして、代わりの理事を4月の総会で任命したいとの報告がされ、了承された。
 - 理事サイドより、下記の意見が出された。
 - 日米対抗のプロアマに参加していただくプロに、交通費ぐらいいは出すべきである。
 - 文部大臣杯の優勝者に、プロテストの3次予選から出場できるようPGAに学連から文書を提出し、要請すれば検討するとの回答をいただいているので提出してはどうか。

議事録作成 小川 潤也（武蔵大学）

全日会議報告

全日会議議事録

日時	平成9年3月16日(日) 午前10時～午後12時30分
場所	関東学生ゴルフ連盟事務所
出席	今泉、金、小川、本間、永田、田中、舛谷、桑田、山崎（関東学生ゴルフ連盟） 宮本、村上、岡田（北海道学生ゴルフ連盟） 岩浅、小川、広川（中四国学生ゴルフ連盟） 上村、南島、赤坂（関西学生ゴルフ連盟） 木下、森山、出口（中部学生ゴルフ連盟） 比良、上坂貴、松尾（九州学生ゴルフ連盟）（順不同）

議案及び決議事項の報告

- 第1号議題一「全日競技日程等について」 平成9年度全日本学生ゴルフ連盟主催競技日程が確認された。（別紙参照）尚、文部大臣杯は日程が変更される可能性があると報告された。
- 第2号議題一「競技方法の確認」 金競技委員長より、前回の全日会議で討議された以下の事項について確認、追加された。
- キャディについて 前回の会議では、決勝ラウンドのみにハウスキャディをつけるなどの案出がされていたが、中四国学生ゴルフ連盟の岩浅副委員長によると、コース側と交渉が必要とのことなので、中四国に任せることになった。
 - スロープレーについて 金競技委員長より、前回の会議で決定されたとおり、スロープレー1回目は警告、2回目は1ペナということが確認された。
 - 服装について 前回の会議で討議された結果に加え、皆が見て派手でないものは認めるということが確認された。
 - 日本学生ゴルフ選手権について 金競技委員長より、この選手権にも全日の競技規定をとりいれたらどうかという提案がされた。JGAの主催なのであやふやになりがちだが、学連に加盟している者しか出場できないため、学連のルールを適用するべきとされた。よって、各地区で要項に載せるなど、学生に忠告することで承認された。
 - 1日1Rについて 1Rにするとものたりないのでないか、1Rで団体日本一を決めてよいのか、などの問題が浮上してくる可能性もあるが、今年度は前回の全日会議で決定したとおり、1Rで通すことが確認された。
 - 日米親善について 中部学生ゴルフ連盟の木下副委員長より、どのような試合になるかは未定だが、8月10日前後に何らかの形で行われることが報告された。

- 第3号議題一「全日理事会について」 前回の全日理事会の感想が各学連から寄せられた。共通して、理事会は必要ではあるが学生主体が前提にあり、連盟の方向付けや学生とのクッションであるべきという意見が多数を占めた。いずれにしても、理事会の立場をしっかりと決めるべきであるとされた。

- 第4号議題一「全日の会計について」 会計の本間より、平成9年度全日本学生ゴルフ連盟会計予算が報告された。（別紙参照）
- 第5号議題一「その他(単位制について)」 単位制の導入について前回の会議でも討議されたが、各学連でアンケートをとった結果、以下のような反対の意見がみられた。

- 個人と大学の問題があるので強制的にやる必要もない。
 - 大学によって単位の取り方が異なる。
 - 試合が平日にあるので矛盾する。
- このように反対意見が多数を占めたため、この問題は据え置き若しくは、単位を取るようにと促すだけとなった。

- 原則として競技会の運営人数は以下の通りとする。

競技会名	関東	関西	中部	北海道	中四国	九州	総数
全日	6名	6名	4名	2名	3名	2名	23名
日本学生	5名	6名	3名	2名	2名	2名	20名
朝日・信夫杯	7名	3名	3名	2名	3名	2名	20名
文部大臣杯	5名	3名	2名	2名	4名	2名	20名
TOPY CUP	15名	4名	3名	2名	2名	2名	28名

議事録作成 山崎 有香（日本女子大学）

全日本学生ゴルフ連盟理事会設立準備委員会

日時	平成9年3月14日(金) 午前11時00分～午後2時30分
場所	国際観光ホテル 富士の間
出席	松本会長、福島専務理事、細川、高木、富田各常任理事 佐藤、今泉、金、小川、森田（関東学生ゴルフ連盟） 森、宮本、萩野（北海道学生ゴルフ連盟） 十代田、 小林、脇田、木下（中部学生ゴルフ連盟） 杉岡、上村、南島（関西学生ゴルフ連盟） 山本、武良、河田、 岩浅（中四国学生ゴルフ連盟） 古賀、高木、塙田、比良（九州学生ゴルフ連盟）（順不同）

議案及び決議事項の報告

開会の辞 松本会長（関東）より、開会の辞が述べられる。

各地区自己紹介 各理事より、自己紹介がされ、その次に学生役員より自己紹介がされた。

活動に関する趣旨説明 松本会長（関東） 近年、学生ゴルフが昔に比べ広く認知され、プレーしやすい良い環境になってきた。そして、全日本学生ゴルフ連盟も加盟校が増え、約4000人の加盟人数になってきた。それに伴い、競技会の規模も大きくなり、海外との試合もスポンサー付きが定着してきた。それらに対する選手選考や事務処理等は関東まかせであった。しかし、経費及びマスコミ関係などの窓口は、今後も社会人が入ってしっかり処理していく必要がある。そこで、全日本学生ゴルフ連盟の理事会を組織して活性化し、これらに対応したい。

各地区連盟の現況報告

北海道学生ゴルフ連盟 加盟数の増加に伴い、試合数も増加して運営が困難になっている。また、東北の大学も加盟しており、広範囲にわたって加盟校があり、会場の選定に困っている。負担を軽くするために是非、東北学連を設立してほしい。また、ゴルフ場が非協力的になってきたので、理事会にゴルフ場とのパイプになってほしい。

関東学生ゴルフ連盟 加盟校92校、加盟人数2207人の組織です。年々、組織が大きくなってきており、その運営にかかる経費も増大して、年間約4千万円になっている。また、トーナメントバイトは今年2試合を予定し、今後トーナメントバイトはなくす方向で検討している。理事会も組織しており、多大な協力を得ている。

中部学生ゴルフ連盟 トーナメントバイトが年間12試合もあり、部員が授業にでられない、ゴルフができない、部をやめるという悪循環に陥っている。また、そのため競技会の日程を組めないという弊害もある。トーナメントバイトを減らしたいが、学連に代わる団体がないでどうしようもない。

関西学生ゴルフ連盟 女子部員が減少しており、試合をしてもエンタリーニ数が少なかったりするので、試合を減らす方向でいる。

また、去年夏のラウンド中に学生が2名死亡するという事故が発生した。今後このようなことがないように対策を講じたい。

トーナメントバイトが5周連続であって、学連の手が回らないが、断りきれない。

中四国学生ゴルフ連盟 ゴルフ場は協力的で、だいたい決まったコースで競技会を行っている。年間20試合を運営しており、問題はない。

九州学生ゴルフ連盟 ジュニアが九州地区は強いが、地元の大学へは進学せず、関東の大学へ行ってしまう。地元の大学へ進学するように、選抜チームを作りたい。そのため九州ゴルフ連盟の協力を得たい。

理事会を組織した。1回しか開いていないが、これから活用したい。

女子部員が少なく、今年は女子の試合を見合わせたい。

松本会長（関東）より、なぜトーナメントバイトが多いのか？という質問に対して、各地区より下記の説明があった。

中部学生ゴルフ連盟 中日クラウンズはそのコースを試合で使用してくれるから。そのほかのものは、BS,DSEから無理に頼まれて、断れない。

関西学生ゴルフ連盟 現状を説明してもDSEが分かってくれないから。

中四国学生ゴルフ連盟 大きな大会ではないので、そんなに負担になっていない。

九州学生ゴルフ連盟 時期が忙しくないのでやっていく。

松本会長（関東） 関東JGA,KGA関係だけやっている。勇気を持って断るべき。

今後の活動方針 富田常任理事（関東） 今まで関東で全日本の仕事を代行してきた。その全日本は競技会を中心に動いていた。これからは、各地区と全日本の関係をどうしていくか。また、各地区的ゴルフ連盟との関係はどうしていくか。

そのようなことを話し合って決めていきたい。そして、ルール、規約を統一して、共有する問題の解決にあたりたい。

理事会の目的は、学生ゴルフ人口の底辺の拡大と、学業との両立をさせることにしたい。

組織案 松本会長（関東） 各地区で推薦された人をそのまま理事にしたい。最大18名。

北海道 1～2名 関東5～6名 中部1～2名 関西3～4名 中四1～2名 九州1～2名

・学生は各地区委員長、関東の事務局、競技、広報局、事業局で行なうことが提案され、了承された。

・事務局は関東に設置し、専任の人を置きたいと提案され承認された。

・人選は4月末までに行なうよう要請された。5月中旬に発足し、6月の日米対抗に間に合わせることが確認された。

・また、規約は関東の細川常任理事に見直しを依頼し、快諾を得た。

・今後の理事会は年1、2回で各地区持ち回りの開催が提案された。

杉岡さん（関西）より「副会長は名誉職として、実質的に活動するのは理事にしてはどうか」と提案され、了承された。

その他 総会、トーナメントバイト、通信教育の学連の扱いについてが話し合われた。結論は先送りにされ、これらの山積みしている問題解決のためにも、理事会設立が急務であることが確認された。

閉会の辞 富田常任理事（関東）より、閉会の辞が述べられ閉会した。

議事録作成 小川 潤也（武蔵大学）

日時 平成9年2月3日(月) 午後6時00分～7時30分

場所 関東学生ゴルフ連盟事務所

出席 福島専務理事、細川常任理事、嶋田、川島、生田、浜鳴各理事、白石事務局員
佐藤、高橋、今泉、金、永田、小川、坂本、桑田各学生委員

第1号議題一『第4条 競技者の義務 チ. (ルールブック) について』

- 「昨年、ルールブック改訂にともない、1996年度版のものを携帯させるよう義務づける規定を設けたが、今年新しく発行された1997年度版のものも使用できるようにしてみてはどうか」との意見が出された。
- この件に関して、あらかじめJGAのほうに問い合わせたところ、1996年度版のものも、1997年度版のものも、とくに改正点がないということで両方とも使用を認めるということで合意した。

改正点

チ. ルールブック (1996年度版) → ルールブック (1996年度以降版)

第2号議題一『規約・競技規定補足—練習ストローク (P. 37) について』

- 「主将主務会議において各大学にアンケートをとったところ、練習ストロークの規定について見直してほしいとの意見が多数出されたが、この件について検討してみてはどうか」との意見が出された。
- この件に関しては、今までスロープレーにつながるとして、「競技会において、スタートの指示を受けてからアテスト時（マッチプレーでは勝敗が決定すること）までの間は、一切の練習ストロークを禁止する。」と規定していたが、学連がスタート時間等について管理するということで、ハーフ終了時における指定練習グリーンでのパッティングの練習を認めるということで合意した。

ただし、その他の練習ストロークの規定については、今までどおり禁止することで合意した。

第3号議題一『チャレンジカップについて』

- 「現在、ブロック加盟していない大学が参加できる競技会は個人戦のみで、団体戦（対抗戦）には参加できないため、ブロック加盟していない大学が出場できる団体戦の競技会（チャレンジカップ）を開催してみてはどうか」という意見が出された。

この件に関しては、昨年10月31日に行われた理事会にて開催が承認されたので、今回は、競技方法について話し合われた。

競技方法については、以下のとおりとなった。

イ. 毎年1回夏季に行われる。

ロ. ブロック加盟していない大学のみ参加できる。

ハ. 1日18ホール、2日間計36ホールストロークプレーとする。

男子は5人中4人のストローク、女子は3人中2人のストロークにより順位を決める。

ニ. 選手登録は、男子が8人まで、女子が6人までとする。

取得権利については、当初上位2校が秋季対抗戦の最下位ブロック（男子はGブロック、女子はFブロック）に参加し、1位もしくは2位になればブロックに残留（加盟）できるが、3位以下の場合は残留（加盟）できないという規定で開催する予定だったが、ルールがわかりづらいということで、以下のような取得権利となった。

チャレンジカップでの上位2校は、秋季入替戦に参加できる。入替戦の競技方法は、従来の競技方法と同様とする。ただし、入替戦において、出場最低人数（男子は5人、女子は3人）に満たない場合は、入替戦の参加校を繰り下げて出場させる。

また、「男子のGブロック、女子のFブロックを8校ずつにまとめて、チャレンジカップでの上位2校との入替戦を行ったらどうか」という意見が出されたが、この件に関しては今後検討されることになった。

第4号議題一『第11条 関東女子学生ゴルフ選手権について』

- 「今年度より全日本学生ゴルフ連盟の主催で、朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権が開催される関係で、関東女子学生ゴルフマッチプレー選手権が廃止されたため、女子の競技会にマッチプレーがなくなってしまうので、関東女子学生ゴルフ選手権をマッチプレーにしてはどうか」との意見が出された。
- この件に関して、男子の関東学生ゴルフ選手権と同様の競技方法で開催することで合意した。

競技方法は以下のとおりとなった。

イ. 每年1回夏季に日本女子学生ゴルフ選手権の前に行う。

ロ. 選考を経た60人内外の選手によって競う。

ハ. 競技方法

1. 本戦 a) 第1日目18ホールストロークプレーにより16人をクオリファイする。クオリファイストロークがタイストロークにて16人を越えた場合は、即日サドンデスによるプレーOFFで決める。

b) 第2日目よりトーナメント形式のマッチプレーとする。

c) トーナメントの組み合わせは、クオリファイストロークの順位により、下記のとおりとする。（タイストロークの場合は抽選にて順位を決める。）

1—16 8—9 4—13 5—12

2—15 7—10 3—14 6—11

また、シード方法についても見直された。

改正点

関東学生ゴルフ連盟競技シード方法

○関東女子学生ゴルフ選手権 (P. 44)

1. 前年度関東女子学生ゴルフ選手権 10位以内

→前年度関東女子学生ゴルフ選手権 16位以内

第5号議題一『規約・競技規定補足—ボール拭き (P. 38) について』

- 「ボール拭きの者の扱いについての規定があいまいなので、キャディにしたほうがよいのではないか」という意見が出された。

ボール拭きの者は、ボールを拭いたり、ピンを持つことができるのに、キャディバッグやクラブを持ったり、アドバイスをするなどの援助ができないのはおかしいとの意見が出された。

しかし、ボール拭きの者は、スロープレーの防止に役立っているが、キャディにすると、逆にスロープレーが増えてしまうのではないかとの意見も出された。今年度の秋季Aブロックリーグ戦及び秋季Bブロックリーグ戦で試験的に行ってみてはどうかという意見が出された。

この件については、今後も検討していくことで合意した。

第6号議題一『その他』

- 「服装」についての意見がだされたが、現在の学連の規定にははつきりと定めた規定がないため、どれがよくて、どれがダメなのか、わかりづらいので、マニュアルみたいなものを作つてみたらどうかという意見が出されたので、その線に沿つて今後検討していくことになった。
- 「競技会の時に、選手やギャラリーと、連盟委員との区別がつかないので、連盟委員に腕章や帽子をつけさせたらよいのではないか」という意見がだされたが、準備や予算的な問題があるので、今後検討していくことになった。
- 「スロープレーの防止のために、現在ハーフ終了時にしか行っていないハーフチェックを、売店や茶店などでも行ったほうがよいのではないか」という意見が出されたが、連盟委員が少ないということもある、現時点ではむずかしい状況なので、カートによる巡回によって、スロープレー防止を行つていくことで合意した。

報告書作成 金 奉基（明治大学）

競技日程

全日本学生ゴルフ連盟・
関東学生ゴルフ連盟主催

男子

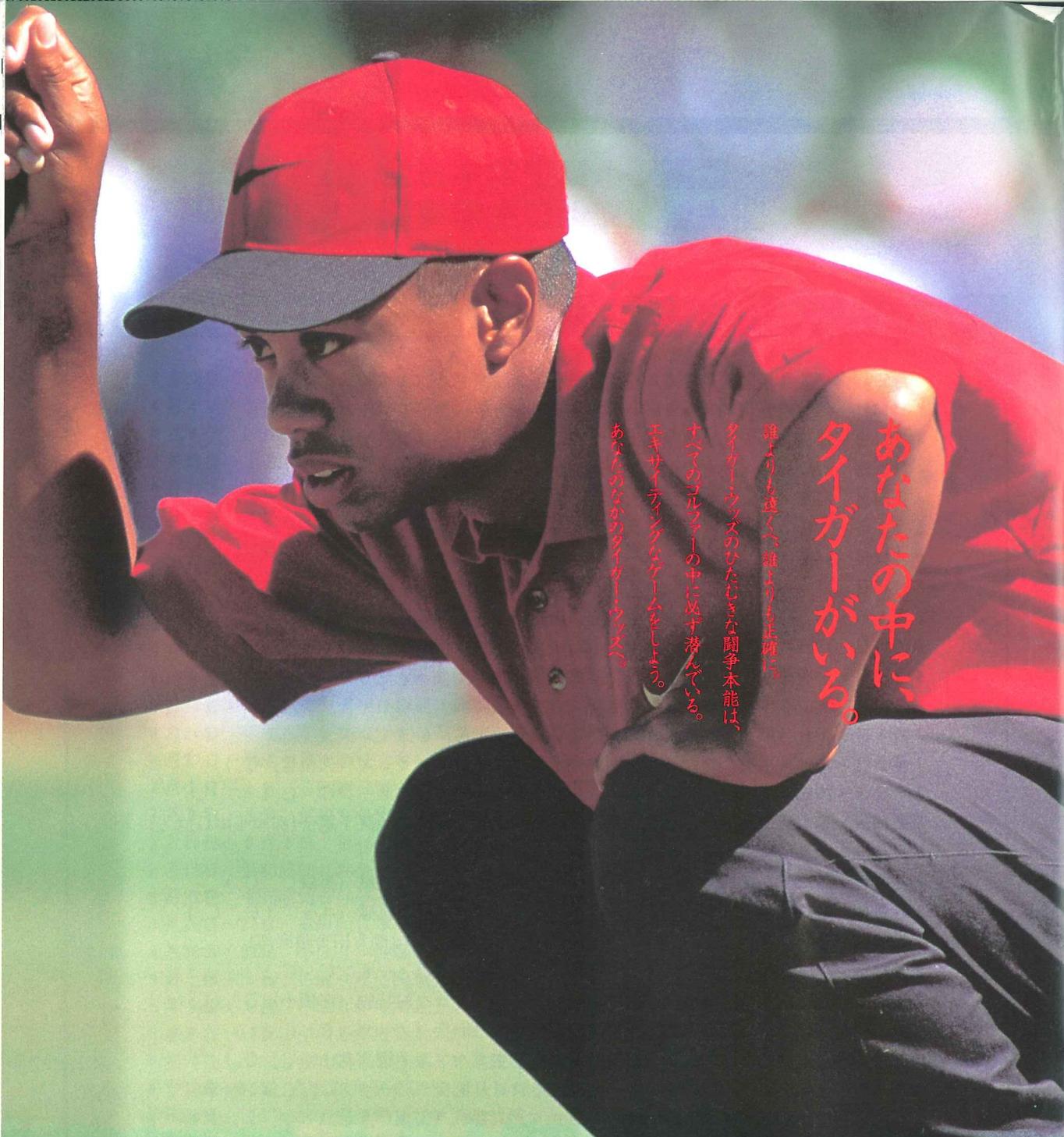
- 3月18日 平成9年度関東学生ゴルフ連盟男子3月月例会(ユーアイG.C.)
 4月1日 第23回日刊スポーツ杯争奪関東学生ゴルフ選手権予選会(喜連川C.C.)
 4月8日 第23回日刊スポーツ杯争奪関東学生ゴルフ選手権予選会(那須小川G.C.)
 4月15日 平成9年度関東学生ゴルフ連盟男子4月月例会(ユーアイG.C.)
 4月22日・23日 平成9年度関東大学対抗春季A Bブロック対抗戦(ユーアイG.C.)
 5月8日・9日 平成9年度関東大学対抗春季E F Gブロック対抗戦(矢板C.C.)
 5月13日・14日 第23回日刊スポーツ杯争奪関東学生ゴルフ選手権(江戸崎C.C.)
 5月20日 第46回関東学生ゴルフ選手権第一次予選会(喜連川C.C.)
 5月23日 第46回関東学生ゴルフ選手権第一次予選会(一の宮C.C.)
 5月27日・28日 平成9年度関東大学対抗春季CDブロック対抗戦(ユーアイG.C.)
 6月3日 平成9年度関東学生ゴルフ連盟男子5月月例会(ユーアイG.C.)
 6月6日 第46回関東学生ゴルフ選手権第二次予選会(新千葉C.C.)
 6月17日・18日 第34回全日本大学ゴルフ対抗戦(信楽C.C.)
 6月24日 平成9年度関東学生ゴルフ連盟男子6月月例会(ユーアイG.C.)
 6月27日 平成9年度関東大学対抗男子春季ブロック入替戦(棚倉田舎俱楽部)
 7月1日～3日 第22回日米大学ゴルフ選手権(浜野G.C.)
 7月8日・9日 平成9年度第1回関東大学対抗チャレンジカップ(ユーアイG.C.)
 7月29日～8月1日 第46回関東学生ゴルフ選手権(鷹之台C.C.)
 8月19日 第45回朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権第一次関東地区予選会(喜連川C.C.)
 8月22日 第45回朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権第一次関東地区予選会(一の宮C.C.)
 8月26日～29日 第51回日本学生ゴルフ選手権(日野G.C.)
 8月28日・29日 平成9年度関東大学対抗秋季E F Gブロック対抗戦(那須小川G.C.)
 9月1日～5日 平成9年度関東大学対抗秋季Bブロックリーグ戦(棚倉田舎俱楽部)
 9月2日・3日 平成9年度関東大学対抗秋季C Dブロック対抗戦(矢板C.C.)
 9月8日～12日 平成9年度関東大学対抗秋季Aブロックリーグ戦(棚倉田舎俱楽部)
 9月16日 平成9年度関東学生ゴルフ連盟男子9月月例会(ユーアイG.C.)
 9月16日～18日 '97 TOPY CUP日米大学対抗ゴルフ選手権(棚倉田舎俱楽部)
 9月26日 第43回信夫杯争奪全日本大学対抗ゴルフ選手権関東地区予選会(矢板C.C.)
 9月30日 第45回朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権第二次関東地区予選会(鶴舞C.C.)
 10月14日 平成9年度関東大学対抗男子秋季ブロック入替戦(新千葉C.C.)
 10月21日 平成9年度関東学生ゴルフ連盟男子10月月例会(ユーアイG.C.)
 10月21日 第43回信夫杯争奪全日本大学対抗ゴルフ選手権(烏山城C.C.)
 10月22日・23日 第45回朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権(烏山城C.C.)
 11月11日 平成9年度関東学生ゴルフ連盟男子11月月例会(ユーアイG.C.)
 12月1日～5日 文部大臣杯争奪第26回全日本学生ゴルフ王座決定戦(広島C.C. 西条コース)
 12月12日 第35回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦(中山C.C.)

上記スケジュールは、日程・コースともに変更する場合がありますが、ご了承ください。
 尚、変更の場合は、随時お知らせします。

女子

- 3月31日 平成9年度関東学生ゴルフ連盟女子3月月例会(ノーザンC.C.)
 4月10日 第23回日刊スポーツ杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権予選会(鳳凰G.C.)
 4月17日・18日 平成9年度関東大学女子春季A Bブロック対抗戦(ダイヤグリーンG.C.)
 4月21日 平成9年度関東学生ゴルフ連盟女子4月月例会(ノーザンC.C.)
 4月24日・25日 平成9年度関東大学女子春季E Fブロック対抗戦(矢板C.C.)
 5月8日・9日 平成9年度関東大学女子春季C Dブロック対抗戦(黒磯C.C.)
 5月13日～14日 第23回日刊スポーツ杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権(江戸崎C.C.)
 5月19日 平成9年度関東学生ゴルフ連盟女子5月月例会(ノーザンC.C.)
 6月5日 第35回関東女子学生ゴルフ選手権予選会(鳳凰G.C.)
 6月17日・18日 第20回全日本女子大学ゴルフ対抗戦(信楽C.C.)
 6月23日 平成9年度関東学生ゴルフ連盟女子6月月例会(ノーザンC.C.)
 6月24日 平成9年度関東大学女子春季ブロック入替戦(那須小川G.C.)
 7月1日～3日 第22回日米大学ゴルフ選手権(浜野G.C.)
 7月2日・3日 平成9年度第1回関東大学女子チャレンジカップ(矢板C.C.)
 7月22日～25日 第35回関東女子学生ゴルフ選手権(ダイヤグリーンG.C.)
 8月19日 第1回朝日杯争奪全日本女子学生ゴルフ選手権関東地区予選会(那須小川G.C.)
 8月27日～29日 第34回日本女子学生ゴルフ選手権(日野G.C.)
 8月28日・29日 平成9年度関東大学女子秋季E Fブロック対抗戦(黒磯C.C.)
 9月9日・10日 平成9年度関東大学女子秋季C Dブロック対抗戦(ユーアイG.C.)
 9月16日～18日 '97 TOPY CUP日米大学対抗ゴルフ選手権(棚倉田舎俱楽部)
 9月22日 平成9年度関東学生ゴルフ連盟女子9月月例会(ノーザンC.C.)
 9月25日・26日 平成9年度関東大学女子秋季A Bブロック対抗戦(那須小川G.C.)
 10月13日 平成9年度関東学生ゴルフ連盟女子10月月例会(ノーザンC.C.)
 10月22日・23日 第1回朝日杯争奪全日本女子学生ゴルフ選手権(烏山城C.C.)
 10月27日 平成9年度関東学生ゴルフ連盟女子11月月例会(ノーザンC.C.)
 10月30日 平成9年度関東大学女子秋季ブロック入替戦(矢板C.C.)
 12月12日 第33回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦(中山C.C.)

上記スケジュールは、日程・コースともに変更する場合がありますが、ご了承ください。
 尚、変更の場合は、随時お知らせします。



ツアークオリティ。

Titleist®



•クイズに答えてタイガー・グッズを当てよう! プレゼント・キャンペーン実施中! 詳しくは店頭で。

日本タイトリスト株式会社 〒103 東京都中央区日本橋久松町11-6 日本橋TSビル 大阪営業所 〒541 大阪市中央区北久宝寺町1-2-8 中央東船場ビル TEL.06-266-1561 お客様相談ダイヤル・03-3639-1797

中山カントリークラブ No.10Hole 516Yds. Par5



●中山カントリークラブにて開催
第33回 会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦
第35回 会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦

ゴルフより面白いのは、ゴルフです。

いつ、誰と行っても、ゴルフは楽しい。

加えて、素晴らしいコースでラウンドできたら。

総武都市開発は、自分がプレーするつもりですべてに取り組んでいます。

スタッフの心づかい、リラックスした雰囲気、整備されたコースコンディションなど。

私たちならではの経験と知恵が、各所に活かされています。

さあ、もっとゴルフに打ち込ませんか。

総武都市グループ

●総武カントリークラブ・総武コース ●総武カントリークラブ・印旛コース ●総武カントリークラブ・北コース ●中山カントリークラブ ●武藏野ゴルフクラブ ●川越カントリークラブ ●スプリングフィルズゴルフクラブ ●アルバインカントリーゴルフクラブ ●軽井沢森泉ゴルフクラブ ●妙高カントリークラブ ●パインツリーゴルフクラブ ●ソーブグアムコース ●八ヶ岳ザイラーバレースキー場

総武都市開発株式会社

〒101 東京都千代田区神田錦町3-13-7
TEL.03-3292-5271(代表)



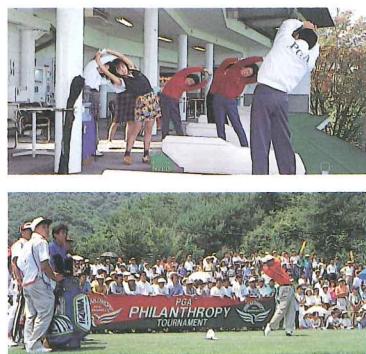
ゴルフの指導は、文部省認定・PGAの会員からお受けください。

日本プロゴルフ協会(PGA)は、日本で唯一のゴルフ指導者の文部大臣認定「社会体育指導者の知識・技能審査事業」の実施団体です。これはPGA会員だけが取得しているゴルフ指導者資格です。ゴルフのレベルアップにはPGA会員のレッスンをおすすめします。



PGAの主な事業

- トーナメント部門
PGAツアーゴルフ
PGAシニアツアーゴルフ
PGAグローバルツアーゴルフ
トーナメントプレーヤー資格認定
- インストラクター部門
文部大臣認定ゴルフ教師資格認定
インストラクター資格認定
- JGAジュニアスクール指導担当



PGA友の会「ザ・PGAクラブ」会員募集中!!

ゴルフの楽しさが広がる「ザ・PGAクラブ」会員にはPGA主催・共催トーナメントへのご招待をはじめ、レッスン会、懇親コンペのお知らせ、PGAグッズの割引販売などうれしい特典が多数あります。

- (年会費7,725円)
- お問い合わせ先
03-3839-0856
ザ・PGAクラブ事務局

FAXでトーナメント成績・賞金ランキン
グが引きだせる

アクセスナンバー
PGAネットワーク 0990-502-502

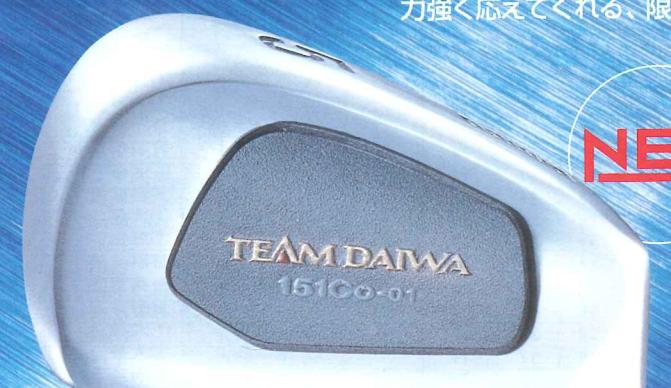
操作は音声ガイドに従ってください。
情報料は約3分300円です。

**社団
法人 日本プロゴルフ協会**

TEAM DAIWA

最高は、勝つためにある。チームダイワ

クラブの理想形のひとつとして、プロやトップアマのテクニックに
力強く応えてくれる、限りなく勝利に近いクラブ作り。
ライバルを越える日へ、
チームダイワ。



●すべての番手で上級者の高い要求に応える

チームダイワ DG-201

シャフト●プロカーボMK-III (硬さ:長さ…R.S: 38.5)
ヘッド●SUS630ステンレス 総重量●I#5(R)375g
10Iセット(3~11, SW)…②価格¥180,000
単品アイアン(2)…②価格¥18,000

NEW

G-3

NEW

ゴルフが10年、若くなる。ジースリー

気品あふれるプレステージ・モデル

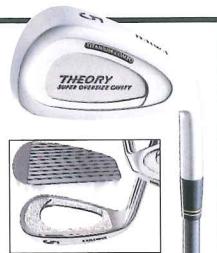
G-3プロアムチタン
8Iセット(5~9, PW, FW, SW) アイアン
…②価格¥440,000
単品アイアン(3, 4)…②価格¥55,000



THEORY

「理論」という名の先進。セオリー

スーパーオーバーサイズチタンコンポキャビティ
セオリーチタンコンポ (チタンフェース)
10Iセット(3~9, PW, FW, SW)…②価格¥280,000



こだわりと
先進技術の結晶

チームダイワ 151 Co-01

シャフト●プロカーボ HM-70
ヘッド●軟鉄&純チタン鍛造
総重量●I#5(R)382g, (S)387g
10Iセット(3~11, SW)…②価格¥450,000
単品アイアン(2)…②価格¥45,000



240cc大型チタン

●上級者仕様の“オーバーサイズプロチタン”
チームダイワ プロチタンVS (ウッド) NEW

シャフト●プロカーボHM-70
(硬さ:長さ…R, RS, S: 44)
ヘッド●6Aℓ-4Vチタン合金
総重量●W#1(R)308g,
(RS)312g, (S)315g
単品ウッド(1<10°, 11.5°), 3, 4)…②価格¥78,000
②10°はRSとS, 11.5°にはRとRSがあります。

●価格とはメーカー希望小売価格(税別)の事です。●ご使用の前には取扱説明書をよくお読みください。※数値は基準価値です。

●インターネットでも情報提供しています。アドレス名:<http://www.daiwaseiko.co.jp>

ゴルフ会員権のご相談は……関東ゴルフ会員権取引業協同組合加盟
ダイワ会員権サービス TEL:0424(79)7723

ダイワ精工株式会社

ゴルフ事業部

〒203 東京都東久留米市前沢3-14-16
TEL:0424(79)7722 (代表)

Daiwa
COMMITTED TO TOTAL QUALITY
ダイワ精工株式会社

第23回 日刊スポーツ杯争奪関東学生ゴルフ選手権予選会(第1会場)

●主 催 関東学生ゴルフ連盟
 ●期 平成9年4月1日(火)
 ●使用コース 壱連川カントリー倶楽部 バックティ 6.896Y
 ●競 技 方 法 18Hsストロークプレー
 ●取 得 権 利 上位17位タイまでの選手が、第23回日刊スポーツ杯争奪関東学生ゴルフ選手権本選の出場資格を取得する。

成績

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL	順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
1	和田 真彦	法政④	36	34	70	64T	小林 寛典	帝京③	44	41	85
2	山本健太郎	日本②	37	34	71		木倉 浩智	慶應義塾②	43	42	85
3T	吉田 大輔	専修④	37	35	72		原田 佳典	明治④	45	40	85
	木村 高威	日本体育④	38	34	72	69T	大倉 正彦	桜美林②	43	42	85
6	後藤 誠司	日本①	37	35	72		星野 耕作	立教④	42	44	86
7T	堀江 知史	日本体育②	37	37	74		吉田 文吾	帝京③	42	44	86
	山内 慎介	日本体育②	37	37	74		巴山 京來	玉川③	44	42	86
	市原 建彦	日本①	37	37	74		大木 和行	大東文化④	42	44	86
10T	今井 秀和	専修①	38	36	74		野寺 宗夫	城西④	43	43	86
	廣田 裕一	日本体育④	36	39	75		山本 将勝	駒澤②	39	47	86
	杉之間信明	拓殖④	37	38	75		松田 吉広	拓殖④	46	40	86
12T	海野 安将	関東学院②	38	38	76		井上 昌弘	明治④	40	46	86
	上田 修平	東北福祉②	39	37	76		山崎第一郎	東洋③	42	44	86
	上中 啓史	拓殖④	39	37	76	78T	齊藤 誠	東北福祉③	45	42	87
15T	平井 一也	日本②	38	39	77		仲田 大介	法政②	45	42	87
	深沢 尚人	専修④	40	37	77		井澤 健司	東洋③	42	45	87
	三村 和伸	日本②	38	39	77	81T	安斎 賢一	関東学院③	43	45	88
	岩崎 桂介	中央学院①	35	42	77		橋本 義弘	中央③	46	42	88
	小林 由昌	日本体育④	36	41	77		佐藤一郎	立正②	44	44	88
	後藤 貴浩	日本①	38	38	77		菅野 康太	國士館③	41	47	88
	若本 英己	東海④	41	36	77	85T	上田 崇宏	専修②	43	46	89
	野々垣真憲	駒澤④	38	39	77		佐藤晃太郎	東北学院③	44	45	89

以上、上位22名、15位タイまでの選手が第23回日刊スポーツ杯本選に出場。

23T	川瀬 裕吾	学習院③	39	39	78		後藤 茂一	新潟③	46	43	89
	中原創一郎	専修④	39	39	78		村井 榮樹	法政②	46	43	89
	久保谷和明	中央学院③	40	38	78	91T	南條 孝淳	立正③	42	47	89
	荒井 謙光	中央学院②	40	38	78		三科 文成	慶應義塾④	45	45	90
	辻 孝平	慶應義塾③	37	41	78		高塩 知範	青山学院②	41	49	90
	野村太一郎	明治④	40	38	78	93	八木 哲	成蹊②	43	48	91
29T	吉柴 利安	専修③	40	39	79	94T	小田 努	中央③	45	47	92
	大橋 元	日本②	39	40	79		佐々木龍一	東北学院②	47	45	92
	佐瀬篤二郎	神奈川②	40	39	79		東島 弘明	成蹊③	47	45	92
	五町 達也	中央学院④	37	42	79		矢沢 慎吾	玉川③	50	42	92
	谷原 秀人	東北福祉①	38	41	79		田中 大輔	早稻田②	45	47	92
	福士 岳城	青山学院④	39	40	79	99T	左山 雅浩	駒澤②	51	42	93
	伸山 国光	法政②	40	40	80		西野 浩介	東京都立②	44	49	93
	松平 忠直	学習院②	40	40	80	101T	内田 雄	法政④	44	50	94
	中原 鉄平	専修①	43	37	80		笛沼 勉行	大東文化③	47	47	94
38T	伊丹 大介	東北福祉②	41	40	81		飯田 浩治	早稻田②	50	44	94
	武藤 扱也	亜細亞③	40	41	81		杉本 傑之	駒澤②	50	44	94
	野田 賢蔵	日本①	42	39	81	105	沢田 勝司	筑波②	47	48	95
	金子 朋弘	日本①	39	42	81	106	須藤 広昭	成城④	52	44	96
	小俣裕次朗	東洋④	41	40	81	107T	龜山 武弘	東北学院②	48	49	97
	高津 寛人	中央学院②	40	41	81		府川 泰典	青山学院④	50	47	97
	金田 凉	東洋③	41	40	81	109T	近藤 将人	立教④	45	53	98
45T	黒沢 慎	日本③	38	44	82		松本 大助	中央③	50	48	98
	橋本 宣典	学習院③	43	39	82		島村 亮介	亜細亞②	49	49	98
	渡邊 潤	日本体育④	41	41	82		古久保邦彦	成城②	45	53	98
	津止 克明	獨協③	40	42	82		大矢根将彥	武藏②	50	48	98
	安藤 康昭	慶應義塾④	43	39	82	114T	永峯 隆行	東京都立②	48	51	99
	佐藤 圭悟	拓殖③	46	36	82		青木 豊英	城西国際①	50	49	99

以下、リミットオーバー

51T	藤田 大	神奈川②	41	42	83		木股 康之	成蹊②			
	川井 友敬	神奈川①	40	43	83		佐野 誠	青山学院②			
	櫻井 俊唯	東北福祉③	40	43	83		平賀 元久	帝京③			
	戸叶 雄二	東北福祉①	43	40	83		西沢 博之	城西④			
	高橋 貴之	武蔵④	42	41	83		山村 潤	大東文化④			
	石井 隆一	早稲田②	43	40	83		田原 秀之	和光③			
	鈴木 徹	東洋④	40	43	83		増田 栄一	和光③			
	飯塚 和正	明治④	38	45	83		高橋 雅典	獨協③			
59T	若米伸太郎	法政②	42	42	84		立教④				
	中村 大輔	亜細亞②	44	40	84		宇和川 陽	立教④			
	石崎 慎介	東海②	41	43	84		岩間 信道	國士館④			
	林崎 恒哉	麗澤③	40	44	84		小石 卓生	筑波②			
	小野木幸雄	慶應義塾④	42	42	84		西池 泰広	城西国際①			
64T	大久保 望	東北福祉④	47	38	85						

第23回 日刊スポーツ杯争奪関東学生ゴルフ選手権予選会(第2会場)

●主 催 関東学生ゴルフ連盟
 ●期 平成9年4月8日(火)
 ●使用コース 那須小川ゴルフクラブ 東コース バックティ 6.819Y
 ●競 技 方 法 18Hsストロークプレー
 ●取 得 権 利 上位17位タイまでの選手が、第23回日刊スポーツ杯争奪関東学生ゴルフ選手権本選の出場資格を取得する。

成績

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL	順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
1	長野 英樹	明治③	34	37	71	62T	鈴木 孝典	日本体育①	41	43	84
2T	秋元 一男	日大①	39	33	72		直井 則明	専修③	43	41	84
	林 史将	東北福祉②	35	37	72		島野 聰	帝京④	39	45	84
	染谷 英明	日本体育①	38	34	72		山田 倉義	法政②	44	40	84
5	河中 雄太	拓殖③	40	33	73		飯塚 仁	明海④	42	42	84
6	横山 烈雄	東北福祉②	37	37	74	67T	山田 章平	日大①	43	42	85
7T	桜井 秀剛	日大①	39	36	75		増瀬 欣弥	日本体育③	40	45	85
	石原健太郎	法政②	39	36	75		阿部 高士	足利工業③	45	40	85
	新井 竜也	東北福祉④	39	36	75		吉田 哲也	中央学院②	40	45	85
	布川 貴久	慶應義塾③	37	38	75						

第23回 日刊スポーツ杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権予選会

- 主 催 関東学生ゴルフ連盟
- 期 日 平成9年4月10日(木)
- 使用コース 凤凰ゴルフ倶楽部 東コース
- 競 技 方 法 18Hsストロークプレー
- 取 得 権 利 上位37位以内(タイを含む)までの選手が、第23回日刊スポーツ杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権の出場資格を取得する。
- 天 候 晴

成績

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL	順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL	
1	高山知香子	日本③	36	38	74		高橋 麻里	学習院④	47	49	96	
2 T	吉田希美代	早稲田①	38	41	79		松本 佳苗	日本体育④	49	47	96	
	田辺千佳子	日本②	39	40	79	44 T	森山 裕子	日本体育③	50	47	97	
4	小俣奈三香	中央学院③	41	39	80		前田 晶	慶應義塾③	44	53	97	
5	三木智映子	東洋英和女学院④	40	42	82	46 T	伊澤実佐子	立教④	48	50	98	
6 T	河野 美恵	日本③	42	41	83		豊田 有美	慶應義塾④	52	46	98	
	西田有紀子	関東学院③	44	39	83		内海 裕子	日本体育①	45	53	98	
	柳沢 朱実	専修③	40	43	83		杉若 玲子	青山学院③	50	48	98	
9	桑野真紀子	中央学院④	45	39	84	50 T	滝波早咲子	成城④	52	47	99	
10 T	斎藤 香	中央学院④	44	41	85		酒巻 芙蓉	玉川③	49	50	99	
	中島 佳乃	日本①	44	41	85	52 T	吉田 陽子	成城②	55	45	100	
	佐野 歩美	中央学院③	44	41	85		福山貴美恵	学習院④	49	51	100	
13	戸部賀代子	日本体育①	44	43	87		遠藤 弓	玉川④	47	53	100	
14	大田原さつき	日本①	46	42	88	55	小林奈美江	成蹊④	49	52	101	
15 T	西村 薫	専修④	46	43	89	56 T	山村 和代	東洋英和女学院③	50	53	103	
	平木 貴子	日本①	46	43	89		峰 香織	早稲田③	52	51	103	
	高橋 陽子	玉川④	43	46	89		石谷 奈美	学習院④	52	51	103	
18 T	川田佳代子	中央学院②	45	45	90		大仲 文	白百合女子③	55	48	103	
	五賀かほり	東北福祉②	42	48	90	60 T	千葉亜希子	大妻女子③	49	55	104	
	小幡ますみ	東北福祉③	43	47	90		渡辺 友理	聖心女子④	50	54	104	
21 T	工藤たか子	共立女子④	48	43	91		松本 京子	聖心女子④	52	52	104	
	宮崎 洋子	日本①	46	45	91		田中 純子	関東学院①	48	56	104	
	大木 美幸	法政①	49	42	91		青山 未来	玉川④	52	52	104	
	米田美佐子	東京④	48	43	91	65 T	高木亜希子	東洋英和女学院③	52	53	105	
25 T	遠藤 珠子	成蹊④	44	48	92		市川 稚子	中央学院①	51	54	105	
	角田 ケイ	玉川④	45	47	92	67 T	平木 桃子	上智③	49	57	106	
	岡野絵梨香	日本体育②	45	47	92		鈴木美樹子	成蹊④	53	53	106	
	密本さくら	専修①	48	44	92		小仲麻記子	慶應義塾③	54	52	106	
	小坂 周子	白百合女子②	45	47	92	70	森 英子	青山学院③	56	51	107	
30 T	大川 朝絵	東海②	46	47	93	71 T	木村 舞	慶應義塾②	55	54	109	
	五百木いづみ	帝京③	46	47	93		鳴川万希子	立教④	54	55	109	
	藤本 朋枝	専修①	48	45	93		長谷川 茜	成城②	52	57	109	
33 T	土谷 薫子	日本体育③	46	48	94	74	高栖 久美	専修④	58	53	111	
	宇田川礼子	東洋英和女学院③	48	46	94	75	村口 直子	慶應義塾②	54	58	112	
	佐藤 有香	早稲田②	44	50	94	以下、リミットオーバー						
36 T	漆野亜紀子	聖心女子④	48	47	95		寺井 由美	慶應義塾③				
	小林千江子	日本④	46	49	95	乗権	仙石 仁美	上智③				
	稻垣 美穂	中央学院①	54	41	95		齋藤 恵	白百合女子②				
	森田 和恵	法政②	46	49	95		長倉 麗子	東海②				
	矢花 慶子	慶應義塾③	46	49	95		横山恵美子	大妻女子③				
	以上、上位40名、36位タイまでの選手が第23回日刊スポーツ杯本選に出場。						欠席	小藪 美花	共立女子④			
41 T	落合めぐみ	日本②	47	49	96		坂本季実子	玉川④				

result 平成9年度 関東学生ゴルフ連盟男子3月月例会

- 主 催 関東学生ゴルフ連盟
- 期 日 平成9年3月18日(火)
- 使用コース ユーアイズゴルフクラブ 桜一臘月コース
- 競 技 方 法 18Hsストロークプレー
- 取 得 権 利 上位7位以内(タイを含む)までの選手が、第35回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦への出場権を得る。
- 天 候 快晴

成績

順位	氏名	大学名	桜	皐月	TOTAL	順位	氏名	大学名	桜	皐月	TOTAL	
1	小林 寛典	帝京③	39	40	79			守谷 大輔	成蹊③	46	43	89
2	上原 健	慶應義塾②	42	38	80	41 T	田中 大輔	早稲田①	43	47	90	
3	高橋 雅典	獨協②	41	40	81			内田亮一郎	立正②	45	45	90
4 T	直井 則明	専修③	39	43	82			杉本 傑之	駒澤②	45	45	90
	飯島 信忠	中央学院②	40	42	82	45 T	津止 克明	獨協②	43	48	91	
	佐藤 政文	東北福祉③	40	42	82			高塙 知範	青山学院②	44	47	91
	篠原安希雄	早稲田②	40	42	82			中出 佳則	立正②	46	45	91
以上、上位7名、4位タイまでの選出が、会長杯に出場。												
8 T	田草川 豊	慶應義塾②	41	42	83			小倉 輝城	東京都立②	48	43	91
	後藤 茂一	新潟②	43	40	83	50 T	高松 太郎	筑波②	46	46	92	
	石本 英成	帝京③	40	43	83			東島 弘明	成蹊③	45	47	92
11 T	広瀬 雄次	関東学院③	42	42	84	52 T	伊藤 博一	國士館①	47	46	93	
	林崎 恒哉	麗澤③	42	42	84			坪谷健太郎	新潟①	47	46	93
	小田 努	中央③	41	43	84	55 T	関矢 誠	専修③	47	47	94	
	井上 豪	拓殖②	43	41	84			高嶋 俊幸	千葉②	42	52	94
	松平 忠直	学習院②	40	44	84	57 T	大矢根将彦	武蔵②	47	48	95	
	上野 大介	慶應義塾②	42	42	84			北原 譲	桜美林②	49	46	95
	高橋 富三	専修③	43	41	84			宮武 秀樹	筑波②	44	51	95
	生田 直攻	拓殖②	40	44	84			西村 明典	明海②	49	46	95
19 T	山村 潤	大東文化③	44	41	85			樋口 直孝	千葉②	47	48	95
	齊藤 茂男	國士館②	44	41	85	62 T	田瀬 良明	東北学院①	49	47	96	
	小磯 星	東海③	42	43	85			永峯 隆行	東京都立②	50	46	96
	松本 大助	中央③	43	42	85			東 礼	國士館②	46	50	96
	柄澤 尊信	法政①	39	46	85			松沼 嘉宣	青山学院②	48	48	96
	小宮 博史	中央学院③	42	43	85	66 T	石田 潤	明治②	51	46	97	
	細井 誠司	東北福祉③	41	44	85			監物雄一郎	拓殖②	46	51	97
	栗原 浩司	成城②	42	43	85	68 T	湯原 茂	武蔵②	49	49	98	
27 T	古久保邦彦	成城②	43	43	86			松岡 隆将	成城②	42	56	98
	大倉 正彦	桜美林②	42	44	86			凌 宏	東北福祉②	46	52	98
29 T	池田 貞仁	中央学院③	45	42	87	71	古川 慎二	千葉②	49	50	99	
	根岸 瞳人	立教②	41	46	87	以下、リミットオーバー						
31 T	瓜生 渉	学習院②	42	46	88			吉田 恵三	桜美林②			
	井上 大樹	関東学院②	43	45	88			江川 賢	法政①			
	若米伸太郎	法政①	47	41	88			八木 裕男	成蹊③			
	左山 雅浩	駒澤②	43	45	88			佐野 充洋	学習院①			
35 T	久保田 徹	東海③	45									

平成9年度 関東学生ゴルフ連盟女子3月月例会

- 主 催 関東学生ゴルフ連盟
- 期 日 平成9年3月31日(月)
- 使用コース ノーザンカントリークラブ 錦ヶ原ゴルフ場 なの花コース
- 競 技 方 法 18Hsストロークプレー
- 取 得 権 利 上位7位以内(タイを含む)までの選手が、第33回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦への出場資格を得る。

●天 候

晴

成績

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL	順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
1	畔田 光子	聖心女子②	42	49	91	19	桜井 美穂	慶應義塾②	51	50	101
2	陣内 麻里	千葉②	46	48	94	20	皆川 佳也	麗澤③	56	46	102
3 T	平木 桃子	上智③	47	48	95	21	高木亜希子	東洋英和女学院③	51	52	103
	山村 和代	東洋英和女学院③	49	46	95	22T	加藤 千絵	日本女子②	54	50	104
	平井 裕佳	聖心女子③	49	46	95		三浦 広子	上智②	56	48	104
6	吉田 美穂	跡見学園女子②	49	47	96	24T	三浦 愛	跡見学園女子②	51	54	105
7 T	川村 由紀	学習院②	48	49	97		永瀬 恭子	上智②	54	51	105
	高野 沙識	玉川②	50	47	97	26	高橋 明希	獨協②	53	53	106
	山下美穂子	慶應義塾②	51	46	97	27	高橋 久美	聖心女子②	52	55	107
	寺井 由美	慶應義塾③	48	49	97	28T	吉田明利咲	成蹊②	55	54	109
以上、上位10名、1位タイまでの選手が会長杯に出場。											
11T	島村久美子	白百合女子②	47	51	98	30	藤田かおり	東洋英和女学院②	55	55	110
	中里 陽子	日本女子②	51	47	98	31	三浦 佳菜	成蹊②	56	56	112
	山田 芙美	学習院②	52	46	98	以下、リミットオーバー					
14	合田 良子	明星③	50	49	99		永島 理恵	跡見学園女子③			
15T	中村 智絵	学習院②	50	50	100		相馬 裕子	東京家政学院②			
	水谷美智恵	駒澤②	47	53	100		井守 智美	東京家政学院②			
	小野 雅子	東京家政③	47	53	100	欠席	三谷久美子	白百合女子②			
	岡田 淳子	東京家政学院②	47	53	100	失格	荒井智恵子	成城③			

平成9年度 関東学生ゴルフ連盟男子4月月例会

- 主 催 関東学生ゴルフ連盟
- 期 日 平成9年4月15(火)
- 使用コース ユーアイゴルフクラブ 隅月一椿コース
- 競 技 方 法 18Hsストロークプレー
- 取 得 権 利 上位7位以内(タイを含む)までの選手が、第35回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦への出場権を得る。

●天 候 曇

成績

順位	氏名	大学名	皐月	椿	TOTAL	順位	氏名	大学名	皐月	椿	TOTAL
1	瀬口 尚嗣	早稲田①	37	40	77		菅 崇之	駒澤③	46	46	92
2 T	遠藤 大介	立教②	39	40	79		根岸 瞳人	立教②	49	43	92
	高見澤祐二	帝京③	36	43	79		古久保邦彦	成城②	47	45	92
	林 直樹	東北福祉②	41	38	79	40	川波 豪	明治①	50	43	93
5	木倉 浩智	慶應義塾②	35	45	80	41T	澤野 将文	東北福祉②	44	50	94
6 T	増田 司	中央①	42	39	81		石本 英成	帝京③	46	48	94
	田草川 豊	慶應義塾②	40	41	81		小林 信之	立正②	44	50	94
以上、上位7名、6位タイまでの選手が会長杯に出場。											
8	飯田 浩治	早稲田②	40	42	82		平松 憲一	明治学院③	47	48	95
9 T	小田 努	中央③	42	41	83		島村 亮介	亜細亜②	48	47	95
	浅田 和孝	大東文化②	40	43	83		渋川 武志	白鷗③	49	46	95
11T	吉田 信人	法政①	42	42	84	48T	亀山 武弘	東北学院②	50	46	96
	岩崎 桂介	中央学院①	43	41	84		腰川 雅之	白鷗②	47	49	96
13T	谷田 純	帝京③	43	42	85		佐藤 剛	明海②	45	51	96
	小蘭江 純	中央学院①	43	42	85		樋口 直孝	千葉②	44	52	96
15	松平 忠直	学習院②	45	41	86	52T	金田 大介	駒澤②	48	49	97
16	松本 成生	法政①	42	45	87		佐藤 葉一	大東文化①	46	51	97
17T	田中 大輔	早稲田②	43	45	88	54T	越田 享	立教①	51	47	98
	伊藤 健作	立正①	41	47	88		渡辺 大輔	青山学院②	48	50	98
	酒巻 奉和	大東文化①	42	46	88		橋本 義弘	中央③	47	51	98
	佐藤晃太郎	東北学院③	42	46	88	以下、リミットオーバー					
	竹澤 学	東北福祉③	43	45	88		西村 明典	明海②			
	山本 将勝	駒澤②	42	46	88		杉田 憲彦	明治学院③			
	数原 滋彥	慶應義塾①	39	49	88		佐藤 庄作	東北学院②			
24T	石渡 悟	日本体育①	44	45	89		元井 章智	青山学院②			
	安積 孝文	専修①	46	43	89		瀬尾 誠	千葉経済②			
	小河原健博	明治①	47	42	89		松沼 嘉宣	青山学院②			
	福元 康夫	明海①	45	44	89		渡辺 将博	亜細亜①			
	小宮 博史	中央学院③	45	44	89		森川信太郎	千葉経済①			
29T	米坂 雄二	拓殖②	45	45	90		高嶋 俊幸	千葉②			
	二口 譲	学習院②	47	43	90		岩崎 智一	國士館①			
	鈴木 孝典	日本体育①	45	45	90	欠席	今井 秀和	専修①			
32T	栗原 浩司	成城②	47	44	91		松方 美憲	専修①			
	井上 豪	拓殖②	51	40	91		青木 豊英	城西国際①			
	板垣 一成	亜細亜①	45	46	91		西池 泰広	城西国際①			
35T	伊藤 陽一	拓殖②	45	47	92		梅津 喜彦	白鷗③			
	西尾 和也	明治②	47	45	92	失格	松岡 隆将	成城②			

順位表

A

- 1 日本大学
2 専修大学
3 東北福祉大学
4 法政大学
5 日本体育大学
6 中央学院大学

ブロック

B

- 1 東洋大学
2 慶應義塾大学
3 拓殖大学
4 青山学院大学
5 明治大学
6 駒澤大学

ブロック

C

- 1 神奈川大学
2 学習院大学
3 関東学院大学
4 早稲田大学
5 立教大学
6 亞細亞大学
7 中央大学
8 帝京大学

ブロック

D

- 1 上智大学
2 東北学院大学
3 大東文化大学
4 成蹊大学
5 玉川大学
6 東海大学
7 立正大学
8 成城大学

ブロック

(男子)

平成8年度
秋季入替戦終了順位**E**

- 1 武藏大学
2 獨協大学
3 國士館大学
4 東京大学
5 東京経済大学
6 一橋大学
7 横浜商科大学
8 東京国際大学

ブロック

F

- 1 和光大学
2 國學院大学
3 武藏工業大学
4 城西大学
5 明治学院大学
6 新潟大学
7 筑波大学
8 桜美林大学

ブロック

G

- 1 東京農業大学
2 横浜国立大学
3 工学院大学
4 文教大学
5 日本工業大学
6 麗澤大学

ブロック

(女子)

平成8年度
秋季入替戦終了順位**A**

- 1 専修大学
2 日本大学
3 日本体育大学
4 中央学院大学
5 法政大学
6 慶應義塾大学

ブロック

B

- 1 早稻田大学
2 玉川大学
3 青山学院大学
4 明治大学
5 学習院大学
6 成城大学

ブロック

C

- 1 東洋英和女学院大学
2 立教大学
3 共立女子大学
4 成蹊大学
5 新潟大学
6 聖心女子大学
7 明治学院大学
8 東京農業大学

ブロック

D

- 1 白百合女子大学
2 実践女子大学
3 上智大学
4 國學院大学
5 日本女子大学
6 東海大学
7 東北福祉大学
8 関東学院大学

ブロック

編 集 後 記

この編集後記を、自分が任せられることになると
は思いもよらないことでした。一体、どの位の人数
の方がこの編集後記を読んでくださっているのか分
かりませんが、誠心誠意、書いていこうと思います。

学生の皆さん、競技会の季節がやってきました。
平成9年度の競技会は、3月の男子月例会をもって
始まりました。オフの間には、やれ合宿だ、トレー
ニングだ、というように日々鍛練してきたあなた、
いよいよその力を発揮する時です。試合に出場する
方は選手同士互いに凌ぎを削り合い、切磋琢磨し、
試合では昨年より上位を目指しましょう。また試合
に出られない方も、次の機会に向けて頑張りましょう。

しかし、学生ゴルファーである皆さんのが力を入れ
るのは技術の向上だけではありません。何といって
も、マナーを守ることが学生ゴルファーにとって最
も重要視されています。競技会が始まるこの時期に、
マナーのあり方を見つめ直してください。小さな力
ではあると思いますが、このKSGAが学生ゴルフ界
の発展の手助けになればと考えています。

何だか変な文章になってしましましたが、一体誰
がこの欄を読んでくださるのでしょうか。何か御意
見等ございましたら何なりと広報局までお寄せくだ
さい。お待ちしております。では……

(広報局長 坂本 拓也)

平成9年4月30日発行 No.34

編集長 坂本拓也
編集 関東学生ゴルフ連盟広報局
発行 関東学生ゴルフ連盟

〒101 東京都千代田区三崎町2-22-18
TK-WESTビル2号館 6階
TEL.03-3263-4377 FAX.03-3263-4590

飛ばなくたってゴルフは楽しい。飛べば飛んだでもちろん楽しい。



資料請求・お問い合わせ / 株式会社 プロギア Tel.03(3436)3341 名古屋支店 Tel.052(201)8264-5 大阪支店 Tel.06(222)6878 福岡支店 Tel.092(761)3700 仙台営業所 Tel.022(267)8035 製造元 / 横浜ゴム株式会社 スポーツ事業部 0120 81 5600

ゴルフは人柄が出る。殊に200ヤードの
攻め方にそれが出る。
積極果敢な人はZOOMをもつだろう。
ロングのセカンド。200ヤードを
越えるショート。ZOOMならダイレクトに
ピンを狙える。チタンとタンクスティンの複合で、
ひたすら「飛び」を追及した
パワーロングギアZOOM。

P R G R
ZOOM
新登場

